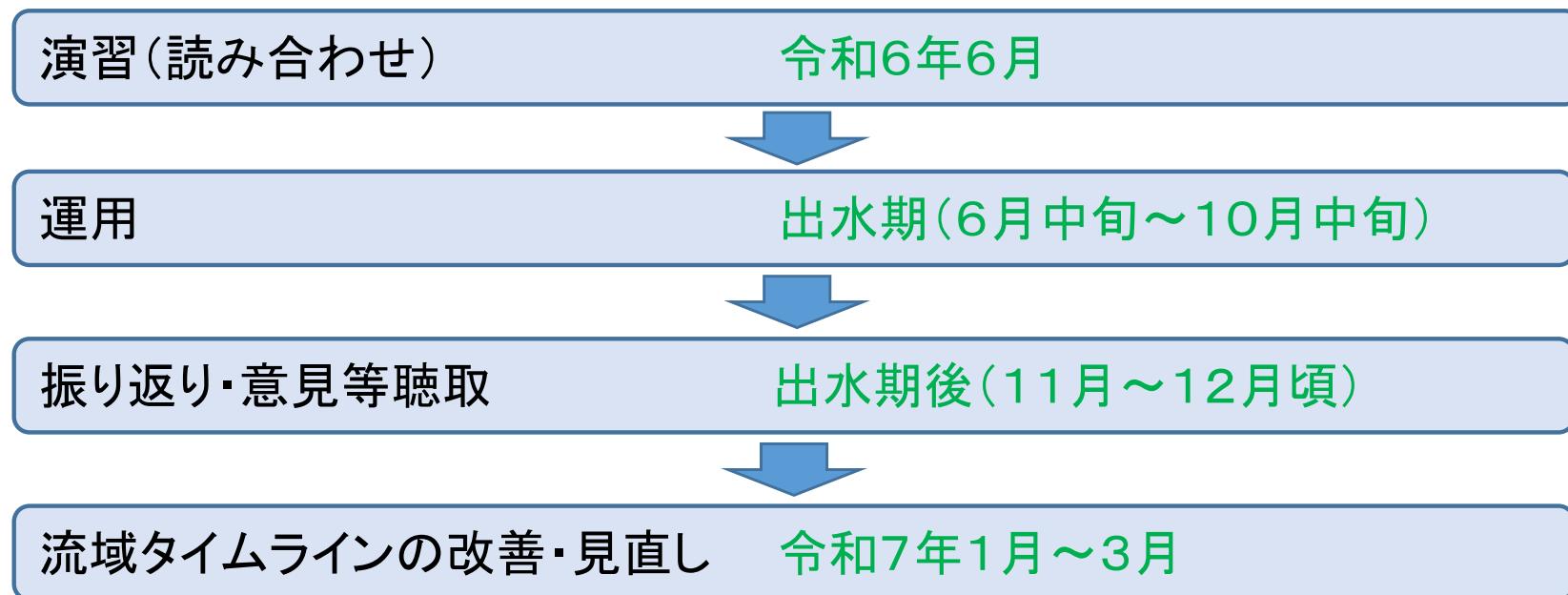


野洲川流域タイムラインの運用について

流域タイムラインの運用について

- 「野洲川流域水防災タイムライン(令和6年度版)」の運用を開始するにあたり、流域水防災タイムラインの周知徹底、行動内容の理解・習熟のための演習(読み合わせ)を出水期前に実施する。
- また、出水期後には運用内容、実績の振り返りを行い、野洲川流域水防災タイムラインの改善・見直しを行う予定である。



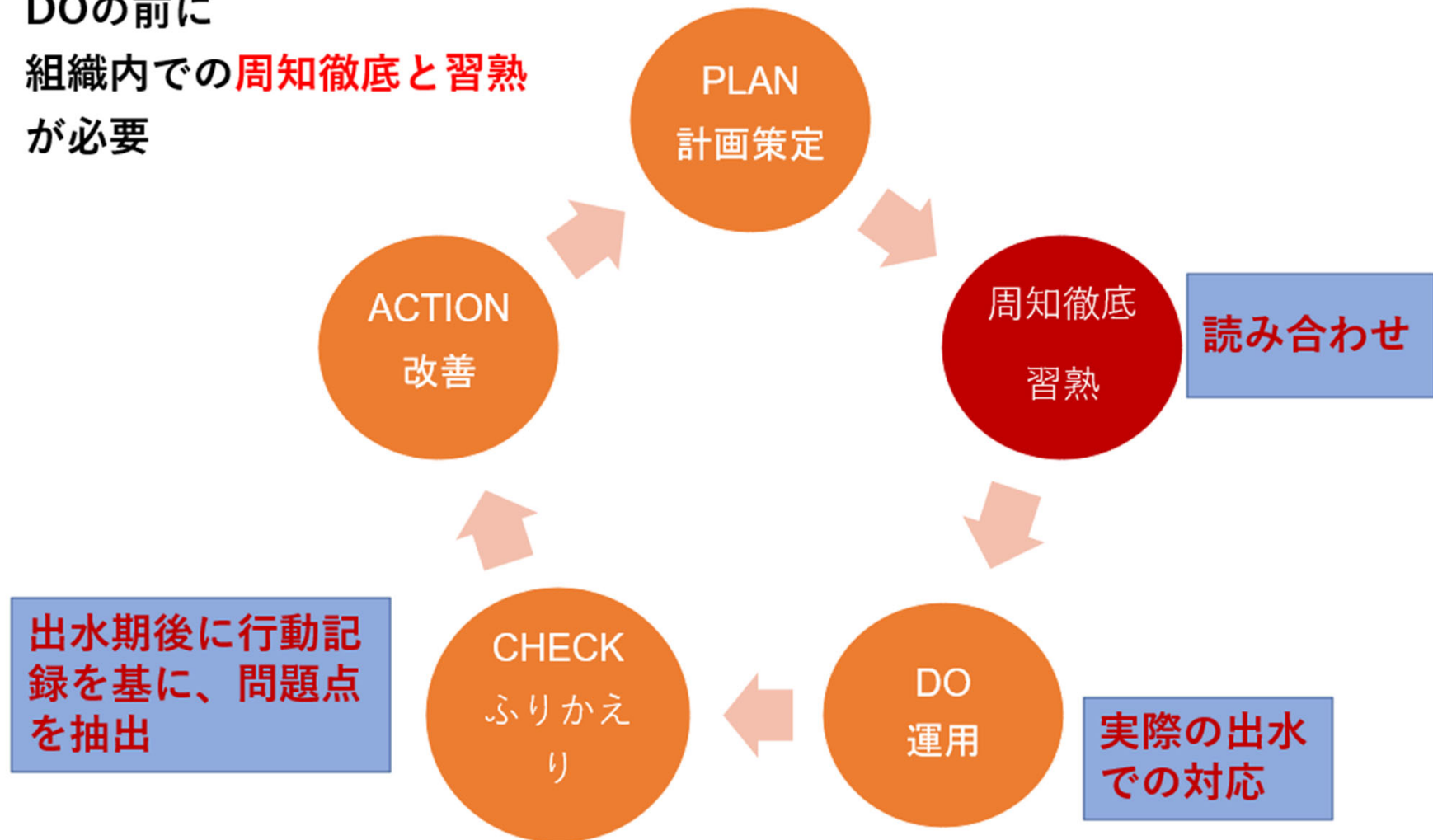
流域タイムラインの運用・スケジュール

流域タイムラインの運用について

演習(読み合せ)の位置づけ

周知徹底・理解・習熟が重要

DOの前に
組織内での周知徹底と習熟
が必要



流域タイムラインの運用について

演習(読み合せ)の概要

- 司会が読み上げるステージ毎の主な行動項目について、担当機関は手元のカードを挙げて確認
- 行動項目等について、疑問に思ったことなどを付せんに記載
- 終了後に以下を中心に意見交換
 - ・ 行動項目、文言のわかりやすさ
 - ・ 行動のタイミングの確認、変更
 - ・ 関係機関との連携の確認、変更

実際の
出水対応
前に
役割を確認

No	防災機能 (第1階層)	行動目標 (第2階層)	対象災害	行動項目 (第3階層)	役割分担																		
					産 根 地 方 気 象 台	陸 奥 湖 河 川 事 務 所	流 域 政 策 局	防 災 危 機 管 理 局	南 部 土 木 事 務 所	甲 賀 土 木 事 務 所	近 江 八 幡 市	津 市	自 治 体	守 山 市	野 洲 市	湖 南 市							
33	情報	防災情報	共通	気象予報の発表・伝達【継続】	発		発	発	発	発	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受		
34			共通	気象情報の発表・伝達【継続】	発		受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	
35			洪水	水防警報発表		○(発)																	
36			洪水	洪水予報(注意注意情報)発表・伝達	発	発	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受
37			洪水	ダム放流状況の伝達			○(発)																
38			洪水	防災操作開始の伝達			○(発)	○															
39			共通	交通規制状況の伝達【継続】																			
40			共通	警戒体制への移行			○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	共通	注意体制(気)			○																		
42	共通	関係機関との連携	共通	自治体への注意喚起																			
43	共通	共通	県へのリエソンの派遣(気)	発					受														
44	住民対応	避難の呼びかけ	共通	市民への注意喚起							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
45	共通	緊急対応可能な体制の確保			○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
46	共通	組織内での情報共有			○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
47	共通	部隊の招集・待機			○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
48	共通	警戒監視および現場広報の実施			○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

凡例 ◎: 行動の主体 発: 情報の発信者 受: 情報の受け手 (受): 情報の取り手

